

第39章 (H12.6.10)

送信者：高知県四万十川対策室

tel(088)-823-9795 fax(088)-823-9296 e-mail sl4102@ken.pref.kochi.jp

## 四万十大使に椎名誠さん就任

「四万十川物語」読者の皆様、こんにちは。  
梅雨の季節となりましたが、みなさん元気でお過ごしでしょうか。  
この時期、四万十川流域でも蛍をみかけます。日頃の蛍光灯に慣れた目で蛍の光を見ても、何か不思議な感じがしませんか？

今回は「四万十大使に椎名誠さん就任」と「カヌー工房」についてお伝えしようと思います。

作家、そしてアウトドア活動をはじめとする幅広い分野で御活躍の椎名誠さんが、四万十大使にご就任されました。俵万智さん、宮崎美子さん、山本容子さんに続いて4人目、男性では初めての大使です。

四万十大使は著名人の方々に知事が委嘱し、県民、国民の共有財産である「四万十川」への支援を全国に呼びかけていただくことを目的としています。大使の「報酬」は、心ばかりの四万十川の「天然アユ」となっています。

椎名誠さんは、第一回映画監督作品として四万十川を舞台とする「ガクの冒険」を製作されたり、これまでに10回以上も四万十川を訪れカヌーを楽しまれるなど、四万十川に対する関心も深く、そのようなご縁がきっかけとなって大使就任が実現したものです。



### 手作りカヌーへの招待



四万十川対策室では、カヌーや木工品を手作りできる「体験型工房」ができないか検討しました。これは、昨年度四万十川流域の方々にお願ひして研究を重ねていただいたものです。

工房のあり方としては、カヌーと木工品の製作、キット販売と自然を身近に感じられるカヌー体験を組み合わせたものとし、四万十川流域一体で「遊ぶ・学ぶ・創る」という自然体験を楽しめる仕組みづくりが必要との報告がありました。

また、地元のスギ集成材等を使って、実際にカヌーを製作していただきました。製作した3艇のカヌーは大正町の「道の駅」や「オートキャンプ場ウェル花夢」、西土佐村の「四万十楽舎」で展示しております。木のぬくもりの伝わる美しいカヌーですので、是非一度ご覧ください。

今後は、研究いただいたグループが中心となって工房の実現に向けた活動を続けるほか、手作りカヌーの交流会なども計画しています。

地元産材料での手作りカヌーで四万十川がにぎわう日をめざしてがんばりたいと思います。取り組みへの、御声援・御協力をよろしくお願ひいたします。

次章(7月10日発行)は『子どもを川にもどす提言』を予定